

稲沢市中小企業振興会議 第1回地域資源発掘ワーキンググループ 概要報告

<u>日 時</u>	令和7年8月27日（水） 午後5時～午後7時
<u>場 所</u>	稲沢市産業会館 大会議室
<u>出席者</u>	市、観光協会、商工会議所、市内事業者・有志等 計14名

水谷事務局長あいさつ

中小企業振興活性化という軸をぶらさずに、地域資源の発掘、磨き上げのみならず新たな創出も含め、それぞれの出席者の知恵や知識、体験を発信していただき、活発な議論を期待します。

中小企業振興基本条例と地域資源発掘グループの目的について

ワーキンググループ3（地域資源発掘グループ）では、地域の資源を発掘し、地域の魅力に変えて市内外へ広く発信するため、3か月に一度集まり話をする機会を設ける。企業や市民のアイデアを持ち寄り新しいプロジェクトを育て、事業化し、企業の利益や地域の雇用が促進される仕組みを作っていく。

「いいなざわざわ」ポータルサイトについて

登録記者による記事の投稿で稲沢の魅力の集約をこの情報ポータルサイトで行う。登録記者にはどなたもがなれる。（稲沢市内在住者のみに限定しない）登録記者を増やす活動や、ポータルサイトの閲覧数を増やす活動については、継続して検討が必要。現在は個人のインスタグラムの有効性が強いので、設計を変えてインスタに載せてもらう方法もある。

事例紹介

【事例①】

ヤバ稲オンパク「自転車で巡る国府宮」を開催した。
国府宮駅からレンタサイクルで旧市街地や歴史スポットを巡った。2時間半の行程を暑い中自転車で回るのは、大変体力を消耗するが、参加者には満足いただけたと思う。このプランも観光協会などで3,000～5,000円で観光商品として売り出せるのではないかと思った。

【事例②】

ヤバ稲オンパク「稲沢グリーンツーリズム（ガイド付き）」を開催予定。
2店舗の園芸店を商品の植物をガイドして回る。稲沢の植木業界の活性化に繋がりたい。事業主の意識変革や、経営の仕方を変革したいと思って企画した。

フリーディスカッション

稲沢の植木業界を何とかしたい。個々の事業所が小さく、個別に活動しているので非常に効率が悪い。将来的には各事業所をまとめる組織を作り、稲沢の植木というブランドを目指したい。植木まつりで剪定のライブを開催してみたらどうだろうか。

稲沢市の特産品ガイドがあるので、学生に取材に行ってもらって動画を作のはどうか。学生に取材をしてもらうだけでも企業は嬉しいと思うし、学生にとっては宣伝するならどうすると面白いか考える体験となる。

稲沢には織田信長というコンテンツがあるので、使わないのはもったいない。何でもいいので信長の関連商品を開発するべき。

意外とプロが思いついていない面白いアイデアが出てくるので、いろいろとプロジェクト案を出してみて、面白いじゃんやろうよ、というのがどんどん生まれてくると良いと思う。

次回案内

大体3か月に1回ペースで開催していきたい。次回は11月頃を予定する。